

上智大学グローバル・コンサーン研究所活動報告

1. 2018年度組織

所長	稲葉 奈々子	総合グローバル学部 総合グローバル学科 教授	
副所長	下川 雅嗣	総合グローバル学部 総合グローバル学科 教授	
所員	阿部 るり	文学部 新聞学科 准教授	
	ホアン・アイダル	神学部 神学科 教授	
	長谷川 ニナ	外国語学部 イスパニア語学科 教授	
	幡谷 則子	外国語学部 イスパニア語学科 教授	
	三浦 まり	法学部 地球環境法学科 教授	
	中野 晃一	国際教養学部 国際教養学科 教授	
	澤田 稔	総合人間科学部 教授	
	田村 梨花	外国語学部 ポルトガル語学科 教授	
	田中 治彦	総合人間科学部 教育学科 教授	
	田中 雅子	総合グローバル学部 総合グローバル学科 教授	
準所員	寺田 俊郎	文学部 哲学科 教授	
	吉川 恵美子	外国語学部 イスパニア語学科 教授	
	丸山 英樹	グローバル教育センター准教授	
	客員所員	浜田 江里子	千葉大学法政経学部 特任研究員
	客員所員	辰巳 頼子	清泉女子大学 文学部地球市民学科 准教授
	客員所員	中野 佳裕	早稲田大学地域・地域間研究機構 次席研究員/研究院講師
	客員所員	ハン キョンエ	The London School of Economics and Political Science
	客員所員	ルセンコ レイナ	マリーナ フロリダ国際大学
	客員所員	バーケット真理	コロンビア大学
	名譽所員	RA	保岡 孝顕
		堀越 耀介	

2. 活動

※肩書等、当時のまま

(2016年度)

「コロンビアにおける連帯経済—地域における実践と平和構築プロセスにおける役割—」

講演者：ミゲル・アルトゥロ・ファハルド・ロハス教授（コロンビア、サンヒル大学、連帯経済研究所所長）

日本語解説：幡谷則子（上智大学外国語学部イスパニア語学科教授）

日時：2016年5月26日（木）17:30-19:30

場所：上智大学中央図書館8階821会議室

主催：上智大学イベロアメリカ研究所

協力：上智大学グローバル・コンサーン研究所

後援：ラテンアメリカの連帯経済研究会

使用言語：スペイン語（日本語要旨配布）

「ソフィア哲学カフェ OPEN」

テーマ：「命」

進行：寺田俊郎（哲学科教員、グローバル・コンサーン研究所所員）

日時：2016年5月30日（月）17:30-19:00

場所：上智大学グローバル・コンサーン研究所（図書館7階南側713号室）

「若者と放射能—関東の汚染はどうなっているのか？震災から5年、放射能被害の知らされない真実。そこから未来の希望を見つけ出す—」

講師：崎山比早子（医学博士、元放射線医学総合研究所主任研究官）他

日時：2016年6月2日（木）19:00-21:00（18:45開場）

場所：上智大学四谷キャンパス2号館508教室

共催：脱被ばく実現ネット

「非常事態宣言と都市 挟撃されるマイノリティ L'état d'urgence et la politique de la ville」

講演者：マリー・ウイバン／原口剛

コメンテーター：小川てつオ／稲葉奈々子

《東京》

日時：2016年6月11日（土）14:00-18:00

場所：上智大学四谷キャンパス2号館4階401教室

《大阪》

日時：2016年6月16日（木）18:00-20:30

場所：上智大学大阪サテライトキャンパス多目的ラウンジ

「慰安婦」問題と現代の性暴力の連続性～当事者による証言の意味～

講師：川田文子（ジャーナリスト、日本の戦争責任資料センター共同代表）

日時：2016年6月18日（土）13:30-15:00（13:00開場）

場所：上智大学四谷キャンパス 12号館102教室

対象者：上智大学生・教職員

「シンポジウム『教育知をめぐるグローバル状況と今後の日本：PISAの批判的再検討へ』」

司会・コーディネーター：澤田稔（上智大学総合人間科学部）

日時：2016年6月26日（日）14:30-17:00

場所：上智大学四谷キャンパス3号館1階123教室

「1976年アルゼンチン軍事クーデターにおける考察—民主主義に至る過程：軍政期の記憶、真実、そして正義—」

パネリスト：伊藤和子（NGOヒューマンライツナウ代表）

杉山知子（愛知学院大学准教授）

アラン・クラウディオ・ベロー（アルゼンチン共和国特命全権大使）

日時：2016年6月23日（木）17:30-19:30

場所：上智大学中央図書館9階921会議室

共催：上智大学イペロアメリカ研究所／アルゼンチン共和国大使館

協力：上智大学グローバル・コンサーン研究所

「Sophians For Peace 立憲デモクラシーと平和を考えるソフィアンの集い」

司会：澤田稔（上智大学総合人間科学部）

基調スピーチ：東郷公德（上智大学外国語学部）

総括スピーチ：中野晃一（上智大学国際教養学部）

日時：2016年6月27日（月）19:00-20:30

場所：上智大学四谷キャンパス2号館4階401教室

共催：立憲デモクラシーと平和を考える上智有志の会

「日仏討論会 移民政策と日本社会」

パネリスト：ザビエル・チョズニッキ（リール大学経済学教授）

エルベ・ルブラ（フランス国立社会科学高等研究所長）

是川夕（国立社会保障・人口問題研究所人口動向研究部主任研究員）

毛受敏浩（日本国際交流センター執行理事・チーフプログラムオフィサー）

杉村美紀（上智大学総合人間科学部教育学科）

総括：伊達聖伸（上智大学外国語学部フランス語学科）

総司会：大野博人（朝日新聞報道局編集委員）

日時：2016年6月29日（水）15:30-

場所：上智大学四谷キャンパス2号館17階国際会議場

「若者と放射能～関東の汚染はどうなっているのか」

報告：川根眞也（内部被ばくを考える市民研究会）、柳原敏夫弁護士

日時：2016年10月25日（火）

場所：上智大学四谷キャンパス2号館5階508教室

共催：脱被ばく実現ネット

映画上映会『グラニート：独裁者を追い詰める!』

製作：Skylight Pictures／監督：パメラ・ウェイツ／アメリカ・スペイン・グアテマラ合作映画

日本語字幕付き・参加費無料・事前登録不要

日時：2016年10月27日（木）19:00-21:00

場所：上智大学四谷キャンパス中央図書館9階911会議室

Sophia Open Research Weeks 2016 企画：「サステイナブル・チョコレート・ワークショップーブラジルのアグロフォレストリー・カカオ生産者と日本の消費者をつなぐー」

日時：2016年11月16日（水）17時00分受付、17時15分開会

場所：上智大学四谷キャンパス 紀尾井坂ビル5F 会議室2

対象者：大学生、短大生、大学院生、高校生、専門学校生、一般

協力：NPO 法人クルミン・ジャポン

哲学カフェ『人を理解すること』

日時：2016年11月28日（月）17:30-19:00

場所：上智大学グローバル・コンサーン研究所（図書館7階713室）

身体表現ワークショップ「Body in Action」

日時：2016年12月2日（金）18:00-21:00／12月3日（土）12:00-17:00／12月4日（日）12:00-17:00

場所：上智大学四谷キャンパス11号館704教室

対象者：一般、学生（定員16名、先着順） ※3日間全日ご参加可能な方

共催：人権をめぐるラテンアメリカ演劇 COMMITTEE

ビオレタ・ルナ パフォーマンス公演「NK603: Action for Performer & e-Maiz」

日時：2016年12月7日（水）19:00開演（18:30開場）

場所：上智大学四谷キャンパス9号館カフェテリア

対象者：一般、学生

共催：人権をめぐるラテンアメリカ演劇 COMMITTEE

ビオレタ・ルナ講演会「トウモロコシの夢と悪夢～身体・アート・社会」

日時：2016年12月9日（金）18:30-20:00

場所：上智大学四谷キャンパス 12号館 201教室

対象者：一般、学生

共催：上智大学イベロアメリカ研究所、人権をめぐるラテンアメリカ演劇 COMMITTEE

「写真展：わたしたちの見た被災地」

東日本大震災被災地訪問スタディ・ツアー みちのく Renaissance!2016

Photo Exhibition: Photo Exhibition: What We've Seen in Tohoku

日時：2017年1月5日（木）～1月24日（火）

場所：上智大学四谷キャンパス中央図書館1階展示スペース

主催：みちのく Renaissance!2016／上智大学グローバル・コンサーン研究所

「被災地を知るスタディ・ツアー「みちのく Renaissance! 2016」報告会」

日時：2017年1月12日（木） 17:30-19:00

場所：上智大学中央図書館 9F911 会議室

ヨーロッパ研究所&グローバル・コンサーン研究所共催企画

映画ゼミナール「食を考える～「落穂拾い」上映会＋「食&農カフェ」報告会～」

日時：2017年1月13日（金） 17:00-19:45

場所：上智大学中央図書館 8F821 会議室

17:00-17:10 主旨説明

17:10-17:25 映画紹介（日本語）John Williams（外国語学部英語学科教授・映画監督）

17:30-19:00 上映会 フランス映画「落穂拾い」

19:10-19:45 IGC「食&農カフェ」メンバーによる報告会

「本物のチョコレート作り体験会」

日時：2017年1月31日（火）17:00-18:30

場所：上智大学四谷キャンパス紀尾井坂ビル5階会議室1

対象者：本学学生、大学院生

協力：本当のガーナチョコレートを作るプロジェクト

※「本当のガーナチョコレートを作るプロジェクト」とは 2012年に発足し、日本とガーナを拠点に活動しています。これまで横浜赤レンガ倉庫でTokyo Chocolate Salon を開催したり、JICA 関西や駒ヶ根青年海外協力隊訓練所、お台場グローバルフェスタでのワークショップ開催したりなど活動の幅を広げています。また毎年ガーナに渡航し、カカオ農園を訪れています。

「反オリンピックと都市—リオ・ピョンチャン・東京」

Social Movement against Olympic Games: Rio de Janeiro・Pyeongchang・Tokyo

登壇者：いちむらみさこ（アーティスト）

町村敬志（一橋大学教授、社会学者）

ジゼレ・タナカ（建築家、都市研究者）

李敬烈（イ・ギョンリョル）（韓国・スポーツ平和フォーラム幹事）

日時：2017年2月18日（土）14:00-18:00

場所：上智大学四谷キャンパス2号館4階408教室

（2017年度）

「哲学カフェ」

テーマ：人権

日時：2017年5月29日（月）17:30-19:00

場所：上智大学グローバル・コンサーン研究所

参加人数：約20名

「人身売買問題における当事者と支援者の関係—ネパール、タイ、日本の事例から」

講演者：チャリマヤ・タマン（シャクティ・サムハ）、齋藤百合子（明治学院大学国際学部、Colabo理事）、仁藤夢乃（一般社団法人Colabo代表）、原由利子（明治大学・創価女子短期大学・津田塾大学非常勤講師。人身売買禁止ネットワーク運営委員）、田中雅子（所員）

日時：2017年6月10日（土）13:30-16:30

場所：上智大学11号館311教室

共催：人身売買禁止ネットワーク（JNATIP）

後援：明治学院大学国際平和研究所

参加人数：約70名

「講演会&哲学対話〜ケニアで生きる女性医師から学ぶ〜異なる価値観の壁を乗り越える力」

講演者：公文和子（小児科医）

日時：2017年7月25日（火）18:30-20:30

場所：上智大学6号館503教室

参加人数：約15名

「食べる・暮らす・生きる〜ポスト3.11の世界に向けて〜風のたより映画上映会&田代陽子監督ティーチイン」

講演者：田代陽子（映画監督）

日時：2017年7月29日（土）13:00-18:30

場所：上智大学中央図書館 821 会議室

参加人数：約 40 名

特別セミナー「コモン・グッドを追求する連帯経済—ラテンアメリカからの提言」主催（広報協力）

講師：Luciane Lucas dos Santos（CES 社会研究センター）

日時：2017 年 7 月 29 日（土）13:00-18:30

場所：上智大学中央図書館 821 会議室

参加人数：約 40 名

「みちのくフィールドワーク」

主催：みちのく Renaissance!

日程：2017 年 9 月 18 日（月）～20 日（水）

場所：釜石市

参加人数：9 名（学生 6 名、教職員 3 名）

共同研究「コモン・グッドを追求する連帯経済—ラテンアメリカからの提言」

特別セミナー開催のお知らせ

Can Solidarity Economy really foster a different perspective of consumption?

Solidarity Consumption and Exchange Fairs

講師：Luciane Lucas dos Santos（ポルトガル・CES(社会研究センター)研究員）

日時：2017 年 9 月 12 日（火）17:00-19:00

場所：上智大学四谷キャンパス 2 号館 8 階 2-815a 会議室

対象者：上智大学教職員・一般

協力：グローバル・コンサーン研究所

「第 2 回本物のチョコレートづくり体験会」

主催：本物のガーナチョコレートを作るプロジェクト

日時：2017 年 10 月 10 日（火）17:00-19:00

場所：上智大学 13 号館 303/304 会議室

参加人数：約 32 名

映画上映会「グラニート～独裁者を追い詰める！」

日時：2017 年 10 月 12 日（木）19:00-21:00

場所：上智大学中央図書館 911 会議室

参加人数：約 50 名

映画上映会「500 年—誰が独裁者を裁くのか」Sophia Open Research 企画

日時：2017年11月13日（月）19:00-21:00

場所：上智大学中央図書館 911 会議室

参加人数：約 140 名

「身体アートから社会を見つめるーアナ・コレアがキャンパスにやってくる」Sophia Open Research 企画

公演者：アナ・コレア

演目：『Rosa Cuchillo～ナイフのロサ～』

日時：2017年11月19日（日）17:00-18:30

場所：上智大学1号館 403 教室

参加人数：約 180 名

「身体アートから社会を見つめる～アナ・コレアがキャンパスにやってくる」講演会&実演 Sophia Open Research 企画

講演者：アナ・コレア

実演：「解体・Rosa Cuchillo～ナイフのロサ～」

日時：2017年11月21日（火）17:30-19:30

場所：上智大学中央図書館 921 会議室

共催：上智大学イベロアメリカ研究所、人権をめぐるラテンアメリカ演劇委員会

参加人数：約 81 名

「シネマ哲学カフェ 映画『LISTEN リッスン』上映会+哲学対話」

お話：牧原依里、雫境（LISTEN 共同監督）

進行：寺田俊郎（所員）

日時：2017年11月24日（金）18:00-20:10

場所：上智大学中央図書館 921 会議室

共催：聾の鳥プロダクション

協力：芸術教育デザイン室 CONNECT/コネクト

参加人数：約 41 名

「ジェンダー暴力と闘う 16 日間キャンペーン企画 沖縄から考える非軍事の安全保障」

講師：高里鈴代（「強姦救援センター・沖縄」（REICO）代表、「基地・軍隊を許さない行動する女たちの会」（OWAAMV）共同代表、「軍事主義を許さない国際女性ネットワーク」（IWNAM）沖縄代表）

メリー・ジョイス（ピースボート国際コーディネーター）

日時：2017年12月6日（水）18:45-21:00

場所：上智大学6号館 307 教室

共催：ピースボート

参加人数：約 80 名

「みちのく Renaissance! 報告会」

日時：2017年12月14日（木）、20日（水）12:30-13:30

場所：上智大学2号館508教室

「第3回本物のチョコレートづくり体験会」

主催：本物のガーナチョコレートを作るプロジェクト

日時：2017年12月18日（月）17:00-18:30

場所：上智大学13号館303/304会議室

参加人数：約34名

「ソフィア哲学カフェ OPEN — 「よく生きること」を考える—」

日時：2018年1月12日（金）17:30-19:00

場所：上智大学中央図書館グローバル・コンサーン研究所

参加人数：27名

「特別セミナー」Social enterprise and pluralism: the contribution of the Brazilian social management studies

講師：Philippe Eynaud（Graduate Sorbonne Business School, University Panthéon Sorbonne）
（グローバル・コンサーン研究所客員研究員）

日時：2018年3月9日（金）17:00-19:00

場所：上智大学中央図書館911会議室

（2018年度）

「移住者と連帯する全国ネットワーク移住者の権利キャンペーン2020「ここにいる Koko ni iru.」
賛同企画」連続講座—移民二世からの研究発信 第4回—

報告者：カルロス・オチャンテ（奈良学園大学非常勤講師）

ロサ・オチャンテ（奈良学園大学助教）

コメンテーター：谷富夫（甲南大学）

日時：2018年4月21日（土）15:00-17:00

場所：上智大学大阪サテライトキャンパス教室2

共催：移住者と連帯する全国ネットワーク貧困対策プロジェクト

参加人数：約30名

「韓国の多文化政策と移住女性の社会参画」

ゲストスピーカー：アン・スンファ（センガクナム BB 代表）

瀧由加利（ソウル地域出入国移民者ネットワーク前会長／ソウル市国人住民
ダイヒョウシヤ会議初代委員長）

ホオ・ヨンスク（韓国移住女性人権センター代表）

モウエひろ子（映画監督）

日時：2018年5月13日（日）13:30-16:30

場所：上智大学2号館415教室

共催：移住者と連帯する全国ネットワーク女性プロジェクト、アジア女性資料センター、科学研究費プロジェクト「移民女性の『新移民コミュニティ』活動と社会的資本に関する国際比較研究」研究会

参加人数：約65名

フォーダム大学との研究交流

- ・フォーダム大学より10名来日、上智大学24名と研究交流。
- ・グローバル・コンサーン研究所としてフィールドトリップの企画運営および、研究フォーラムへの参加を行った。

＜フィールドトリップ＞

日程：5月24日（木）

訪問先：代々木公園ホームレス村、CTIC（カトリック東京国際センター）、NPO 法人 WELgee、あうん（山谷）、Loca Kitchen

＜研究フォーラム＞稲葉所長が Discussant として参加

日程：5月26日（土）

テーマ：Comparative Urban Studies

「参加学生大募集！！2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて人身取引防止キャンペーンとロゴを考えよう」

第1回：2018年5月16日「日本における人身取引の問題を知ろう！」

第2回：2018年5月30日「オリパラに向けたキャンペーン・ロゴのアイデア出し」

第3回：2018年6月13日「キャンペーン・ロゴマークについて話し合い」

第4回：2018年6月27日「キャンペーン・ロゴマークの完成/発表準備」

時間：19:00-20:30

場所：上智大学2号館603教室

参加人数：60名（1回目33名、2回目11名、3回目6名、4回目10名）

「ソフィア哲学カフェ OPEN」

テーマ：差別

日時：2018年6月6日（水）17:30-19:00

場所：上智大学中央図書館グローバル・コンサーン研究所

参加人数：26名

「移住者と連帯する全国ネットワーク移住者の権利キャンペーン2020「ここにいる Koko ni iru.」
賛同企画」連続講座ー移民二世からの研究発信 第5回ー

報告者：松田デレク（お茶の水女子大学）

ラファエラ・オリバレス・ヨシイ（東京大学大学院）

コメンテーター：宮島喬（お茶の水女子大学名誉教授）

日時：2018年6月23日（土）13:30-17:00

場所：上智大学中央図書館911会議室

共催：移住者と連帯する全国ネットワーク貧困対策プロジェクト

参加人数：約65名

「Sexual Consent Workshop 性暴力を許さない社会を作るスキルを身につけよう」

日時：2018年7月1日（水）18:30-20:30

場所：上智大学中央図書館921会議室

共催：一般社団法人ちゃぶ台返し女子アクション

参加人数：約32名

「日本における人身売買と現代の奴隷制～2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて～」
登壇者：鳥居一平（人身売買禁止ネットワーク共同代表／移住者と連帯する全国ネットワーク代表理事）

藤原志帆子（人身取引被害者サポートセンターライトハウス代表）

斎藤恵子（ECPAT／ストップ子ども買春の会共同代表）

奈良朋美（アディダスジャパン株式会社）

畠良（ヤフー株式会社政策企画本部政策企画部公共政策担当）

日時：2018年7月11日（水）18:30-20:30

場所：上智大学中央図書館911会議室

共催：人身売買禁止ネットワーク（JNATIP）

参加人数：約154名

バルトリーニ教授来日公開講演会「幸せのマニフェストー消費社会から関係の豊かな社会へ」

報告者：ステファノ・バルトリーニ

司会：中野佳裕（客員所員、早稲田大学地域・地域間研究機構次席研究員）

言語：英語（日本語逐次通訳付き）

「アルゼンチン 正義を求める闘いとその記録 性暴力を人道に対する犯罪として裁く！」

登壇者：ノラ・コルティニーヤス（「5月広場の母たち」共同創設者）

グラシエラ・ガルシア・ロメロ

ベロニカ・トラス（メモリア・アビエルタ代表）

石田智恵（早稲田大学法学学術院専任講師）

日時：2018年10月13日（土）13:00-17:00

場所：上智大学2号館401教室

主催：アクティブ・ミュージアム「女たちの戦争と平和資料館」（wam）

共催：グローバル・コンサーン研究所、イベロアメリカ研究所、カトリックセンター

参加人数：200名

シンポジウム「メディアのカーメディアはなぜ日本の移民を語らないのか」

パネルディスカッション・登壇者：坂本信博（西日本新聞編集局デスク）

荻上チキ（評論家、ラジオパーソナリティ）

鳥居一平（移住者と連帯する全国ネットワーク代表理事）

日時：2018年10月20日（土）14:00-17:00

場所：上智大学2号館401教室

共催：移住者と連帯する全国ネットワーク（移住連）

参加人数：180名

ソフィア哲学カフェ

テーマ：他者理解

日時：2018年10月24日（水）

場所：上智大学中央図書館グローバル・コンサーン研究所

参加人数：12名

「ブックフェア」Sophia Open Research 企画

日時：2018年10月24日（水）～11月22日（木）

場所：上智大学中央図書館1階展示スペース

「みちのく Renaissance!ソフィア祭出店」

※甲子柿ラテ、甲子柿ソーダの販売

日時：11月2日～4日

場所：上智大学

「学生参加型パフォーマンス創作企画～身体アートからみつめる～日本のラテンアメリカ」

進行役：鈴木こーた

日時：2018年①11月15日（木）、②11月18日（日）日系・在日ペルー人へのインタビュー、③11月22日（木）、④11月29日（木）、⑤12月6日（木）発表会（時間は18:45-20:15 ②以外）

参加学生数：7名

「日本のペルー人物語」発表会

日時：2018年12月6日（木）19:30-20:15

場所：上智大学四谷キャンパス1号館102教室

参加人数：18名（関係者11名含む）

国際シンポジウム「アメリカにおける学校改革の最前線ーボストンのミッション・ヒル・スクールの挑戦から学ぶべきこととは」Sophia Open Research 企画

基調講演者：澤田稔（上智大学）、Ayla Gavins（ボストンMission Hill School 校長）

パネリスト：佐久間亜紀（慶応義塾大学）、末富芳（日本大学）

日時：2018年11月23日（金）13:30-17:00

場所：上智大学2号館1702国際会議室

共催：東京大学大学院教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター

後援：日本カリキュラム学会、アメリカ教育学会

参加人数：143名

「シネマ哲学カフェ」

上映映画：「ある精肉店のはなし」

日時：2018年12月5日（水）17:00-20:30

場所：上智大学中央図書館911会議室

参加人数：32名

ワークショップ「Sexual Consent Workshop 性的同意ワークショップ」

講師：大澤祥子（一般社団法人ちやぶ台返し女子アクション共同代表）

日時：2018年12月7日（金）17:30-19:30

場所：上智大学11号館1階SSIC

共催：上智大学学生センター

企画協力：Speak up Sophia（大学をより安全な場所にするために、性的同意の大切さを広める活動をしている有志の学生グループ）

参加人数：31名

「移住者と連帯する全国ネットワーク移住者の権利キャンペーン2020「ここにいる Koko ni iru.」
賛同企画」連続講座—移民二世からの研究発信 第7回—

報告者：徳森りま、仲田幸司 Enrique

コメント：岸政彦

日時：2018年12月8日（土）13:30-17:30

場所：大阪大学中之島センター講義室 201

共催：NPO 法人移住者と連帯する全国ネットワーク貧困対策プロジェクト

立命館大学生存学研究センター

大阪大学大学院人間科学研究附属未来共創センター

参加人数：30名

映画上映会「500年—権力者を裁くのは誰か」

日時：2018年12月13日（木）17:00-19:00

場所：上智大学6号館501教室

参加人数：21名

講演会「地方を盛り上げたい人必見！～釜石発・甲子柿の魅力に迫る～」

講師：藤井サエ子（創作農家レストランこすもす代表・甲子地区生産者組合代表）

藤井了（希望の壁プロジェクト実行委員会代表）

日時：2018年12月14日（金）12:30-14:30

場所：上智大学11号館1階SSIC

参加人数：30名

映画上映会「月夜釜合戦」

講師：佐藤零郎（監督）、梶井洋志（プロデューサー）

日時：2019年1月20日（日）

場所：上智大学1号館403教室

参加人数：70名

シンポジウム「3.11後の社会運動—8万人データによる検証」

報告者：佐藤圭一（日本学術振興会）、樋口直人（徳島大学）、松谷満（中京大学）、原田峻（金城学院大学）、Barbara Holthus（ドイツ日本研究所）、永吉希久子（東北大学）、大畑裕嗣（明治大学）

コメント：上野千鶴子（ウィメンズアクションネットワーク理事長）、小熊英二（慶應義塾大学）、松井隆志（武蔵大学）

日時：2019年1月27日（日）13:00-18:00

場所：上智大学四谷キャンパス10号館講堂

参加人数：280名

緊急シンポジウム「ここがおかしい、日本の移民政策」

発題：高谷幸（大阪大学）「総論」

樋口直人（徳島大学）「労働」「共生」

奥貫妃文（相模女子大学）「社会保障」

榎井縁（大阪大学）「教育」

稲葉奈々子（上智大学）「ジェンダー」

永吉希久子（東北大学・五十嵐彰（東北大学）

日時：2019年2月11日（月）13:30-17:00

場所：上智大学四谷キャンパス6号館301

参加人数：400名

シンポジウム「私たちはどのような人と社会を求めるか—教育・雇用・グローバル化」

報告者：佐藤学（学習院大学）、上西充子（法政大学）、安田浩一（ジャーナリスト）

リレートーク：溝井萌子（大学生）、諏訪原健（若者）、看護学校学生

コーディネーター：中野晃一（上智大学）

あいさつ：広渡清吾（東京大学）

日時：2019年3月23日（土）13:30-16:30

場所：上智大学四谷キャンパス6号館307教室

共催：立憲デモクラシーと平和を考える上智有志の会、安全保障関連法に反対する学者の会

研究会「タイのコミュニティ福祉の展開」

報告者：Ms. Somsook Boonyabanha（タイ政府CODI顧問、ACHR事務局長）

日時：3月17日（日）14:30-17:30

場所：上智大学四谷キャンパス2号館403教室

共催：国際開発学会「開発福祉」研究部会

●ランチタイム上映会

第1回 4月20日（金）12:40-13:20 「コンビニの秘密—便利で快適な暮らしの裏で」8名

第2回 4月27日（金）12:40-13:20 「種子・みんなのもの？それとも企業の所有物？」5名

第3回 5月18日（金）12:40-13:20 「スマホの真実—紛争鉱物と環境破壊のつながり」5名

第4回 6月21日（木）12:40-13:20 「もっとフェアトレード！」5名

【ブックフェア】

<2016年度>

日程：2016年6月1日（水）～7月15日（金）

場所：上智大学四谷キャンパス中央図書館1階 展示スペース

『平和と正義のブックフェア 世界はもっとやさしくなれる Vol.2』

世界は戦争にあふれている。

日本はずっと世界の戦争に無関心でいられたかもしれないけれど、もはやそれは許されない。

憲法9条に守られ、日本は世界の紛争に派兵することは戦後一度もなかった。しかし、日本は戦争ができる国へと大きく舵を切り始めた2015年に集団的自衛権を容認する憲法解釈の変更が閣議決定され、2016年には安保関連法が成立した。日本の自衛隊が集団的自衛権の名の下で紛争に介入する可能性が一気に拡大した。

戦争を放棄した国から、戦争ができる国へ。

戦争は私たちの人生をどう変えるのだろうか？

戦争の可能性を考えることは、数年前だったらリアルに思えなかったかもしれない。今も、きっとほとんどの人にとってはそうだろう。だけど、想像力をめぐらせ、知識を広げ、考えてみたい。

戦争はなぜ、どうやって始まるのか？なぜ人は憎しみをつのらせ、人を殺すことを許してしまうのか？残虐な行為のあとに、人びとはどうやって平和を築いてきたのか？戦争を回避する道はないのか？9条は日本に何をもたらしてきたのか？

グローバル・コンサーン研究所は2014年に「平和と正義のブックフェア 世界はもっとやさしくなれる」を開催し、大変な好評を博しました。安保関連法が成立した現在、戦争を直視し、平和への実現の道を考えることはいよいよ重要になっています。前回の企画以降、この問題に関する出版も多くなされてきました。そこで今年は新刊書も加えた第二弾を開催し、改めて平和と正義について考えたいと思います。

日本が戦争のできる国へと大きく変容することは、日本の安全をより確保することになるのでしょうか。それとも、平和をおびやかすものになるのでしょうか。その答えは、多くの本との対話を通じて、あなた自身で見つけだしてください。

<2017年度>

日程：2017年11月6日（月）～24日（金）

場所：上智大学中央図書館1階展示スペース

「^{ブエン・ビビール}善く生きる」ための経済を考えるブックフェア—人間中心主義から生命中心主義へ

十九世紀の産業革命以降、「動力化」、「近代化」の名のもとに、人類はエネルギー資源を開発して経済成長をめざし、私たちの生活の物質的な豊かさを求めてきました。

二十世紀後半には、こうした資源や自然を切り崩すことを基盤とした、いわゆる採取型の経済開発の推進には、矛盾や疑問が投げかけられるようになりました。市場経済と競争の理念に基づいた、開発一辺倒の生活様式は、物質的欲求は満たしても、環境破壊や健康被害をもたらすことによっては、必ずしも「豊かなくらし」をもたらすとは限らないことに、気づかされるようになったのです。そして、人間開発（human development）や等身大の発展（development at human scale）や、地球環境にやさしい、持続可能な発展（sustainable development）などの新しい発展概念が生まれました。

二十一世紀の今も、依然として私たちは地球・自然と人間の共生という課題に直面しています。

「脱成長」や「脱開発」の思想が芽生える一方で、実践や運動の中から、オルタナティブな経済や生活様式をめざす哲学が生まれてきました。これが、「社会的・連帯経済」や、ブエン・ビビール、倫理的消費という考え方です。背景には、グローバル化が進む中で、一層貧困や社会的排除、さらには経済的利害に由来する暴力的な行為が解決されないばかりか、世界のある地域では一層深刻になっているという現実があります。そうした現実に対して新しい生き方の方向を求める動きが生まれてきました。これまで、誰しもが「より良い生活」を求めて発展を模索してきましたが、そこには物質的な豊かさや便利さ、人よりも「豊かでありたい」という価値観がありました。しかしそれは、モノ・カネという面では豊になっても、精神的な安定や、貨幣価値では測れない自然との調和や社会的紐帯の再構築のためには不十分でした。

オルタナティブな経済システムや生活様式を問う試みに共通してあるのは、人と人、人と地域社会、人と自然との間でどのような関係性を作りながら真の豊かさを求めるか、という新しい問題意識です。「(他人より)良い生活」を求めるのではなく、社会・自然との調和において「善く生きる」こと、そして、生命の価値を中心に据える考え方です。

現在の市場経済システムにありながら、はたして私たちは倫理的価値や関係性を重視した生き方を実現することは可能でしょうか。あるいは既存のシステムをどのように変えてゆくことが可能でしょうか。欧州やラテンアメリカの思想と実践にはオルタナティブな経済を追求した考え方や経験が豊富にあります。日本でも共通、共鳴する考え方と実践があります。そこには現在の市場経済中心の価値観を変えてゆくためのヒントがあります。

本ブックフェアでは、「連帯経済」を理解するための理論や思想に関する本、その実践である協同組合運動、フェア・トレード、地産地消などを扱った本を集めました。これらの本を手掛かりに、オルタナティブな経済の可能性をみなさんと考えてみたいと思います。

<2018年度>

日程：2018年10月22日（月）～11月22日（木）

場所：上智大学中央図書館1階展示スペース

フェミニズムを考えるブックフェア

— Bookfair on Feminism —

フェミニズムが今、熱い、らしい。

数年前からフェミニズムという言葉が若い世代の間でポジティブな意味合い
で使われることが多くなりました。

第4波フェミニズムと呼ばれるような、新しい、カッコいいフェミニズムの波が来ているの
かもしれません。今年は#MeToo の世界的な動きがあり、セクハラや性暴力の蔓延が可視化
された1年でした。セクハラという言葉が生まれたのは、フェミニズムの運動の成果のひ
とつです。セクハラという言葉が誕生することで、それまで瑣末で個人的なことと思われて
いた性的な嫌がらせが、社会問題として認知されるようになったのです。

そもそも、フェミニズムとはどういう意味なのでしょう？なぜ、今、復権しているように
見えるのでしょうか。第4波というからには、第1波から第3波まで、どのような歴史が
あったのでしょうか。ブックフェア「フェミニズム」では、フェミニズムの思想と運動につ
いて、歴史を振り返り、いま改めて着目される意義を紹介します。

男女平等なんてとっくに達成されたと思っている人、逆に就職活動ではやっぱり女性学生
は不利だと感じている人、あるいは「女子力」とか「男らしく」といったジェンダーロール
性役割に抑圧を感じている人、フェミニズムとLGBTは関係がないと思っている人。

このブックフェアの本に触れて、自分のモヤモヤの解消に役立ててください。FEMINISM

3. 全学共通科目「グローバル・コンサーンと平和の促進」2017年度秋学期開講（金曜日2限）

【講義概要】

戦後、その反省に立って平和への努力を続けてきたはずだが、紛争や暴力は一向になくならず、格差はますます広がり、人権侵害や環境破壊といった問題が山積している。平和の実現には、身に危害が及ぶ暴力だけでなく、貧困など人びとが尊厳を守られない状態、すなわち「構造的暴力」のない世界を目指す必要がある。この講義は、思想、構造、政治、人権といった角度から、暴力のない状態を創り出すための国境を越えた取り組みや、連帯の意義について考える。定員100名。

- | | |
|--|---------------------|
| 1. 導入およびグローバル・コンサーン研究所紹介 | ホアン・アイダル（神学部） |
| 2. 現代思想と平和 | ホアン・アイダル（神学部） |
| 3. カトリック思想と平和 | 小山英之（神学部） |
| 4. 環境と和解 | 吉川まみ（神学部） |
| 5. 経済のグローバル化と世界の貧困・格差 | 下川雅嗣（総合グローバル学部） |
| 6. 開発と人権：コロンビアのケース | 幡谷則子（外国語学部イスパニア語学科） |
| 7. 国境を越える社会運動 | 稲葉奈々子（総合グローバル学部） |
| 8. トルコにおける「民主化」とクルド問題 | 阿部るり（文学部新聞学科） |
| 9. グローバル化と自由民主主義の危機 | 中野晃一（国際教養学部） |
| 10. 軍事主義とジェンダー：日本軍「慰安婦」問題を学ぶ意味 | 田中雅子（総合グローバル学部） |
| 11. 国際法から見た難民・無国籍者 | 江藤淳一（法学部国際関係法学科） |
| 12. 人権と文化相対主義 | 福武慎太郎（総合グローバル学部） |
| 13. まとめⅠ・2017年冬時点での平和の促進に関するホットイシューを選び、それに関与するステイクホルダーの立場になって討論を行う（準備） | |
| 14. まとめⅡ・同（討論実施、振り返り） | |

4. 国際基督教大学社会科学研究所（ICUSSRI）との共同企画シンポジウム

「第36回国際シンポジウム リベラルな世界秩序の終焉か？」

基調講演：ジョン・アイケンベリー（プリンストン大学教授）

藤原帰一（東京大学教授）

パネルディスカッション：

ジョン・アイケンベリー

藤原帰一

ポール・ミッドフォード（ノルウェー科学技術大学教授）

トーマス・ウィルキンス（シドニー大学教授）

ロビン・ハーディング（フィナンシャル・タイムズ東京支局長）

ソ・ジェジョン（国際基督教大学教授）

ウィリアム・フォッセ（国際基督教大学教授、社会科学研究所所長）

日時：2017年1月30日（月）13:30-18:30

場所：国際基督教大学 東ヶ崎潔記念ダイアログハウス 国際会議室
共催：上智大学グローバル・コンサーン研究所

「第37回国際シンポジウム 今こそPISAを問い直す：学力のグローバル・スタンダードをめぐるポリティクス」

基調講演：ハインツ-ディーター・マイヤー（ニューヨーク州立大学オーバニー校教授）
高山敬太（オーストラリア・ニューイングランド大学教育学部准教授）

指定討論者：丸山英樹（上智大学准教授）

パネルディスカッション：

大野彰子（国立教育政策研究所国際研究・協力部長）
松下佳代（京都大学教授）
田中治彦（上智大学教授）

司会：マーク・ランガガー（国際基督教大学）／澤田稔（上智大学）

日時：2017年12月16日（土）10:00-17:40

場所：上智大学号館17階国際会議室

共催：国際基督教大学社会科学研究所(SSRI-ICU)

参加人数：約150名

「第38回国際シンポジウム 変化する世界秩序における日本の位置」

基調講演：Prof. Andrew Oros (Washington College)

The Future of the Alliance :

Misato Matsuoka (Teikyo University)
Takako Hikotani (Columbia University)
Yoichiro Sato (Ritsumeikan Asia Pacific University)

Liberal World Order and Europe

Paul Bacon (Waseda University)
Garren Mulloy (Daito Bunka University)
Seiichiro Taguchi (Ministry of Foreign Affairs of Japan)
Ana-Isabel Sanchez Ruiz (Delegation of the EU in Japan)

Cyberspace and World Order

Motohiro Tsuchiya (Keio University)
Thomas Renard (Royal Institute of International Relations)
Wilhelm Vosse

Concluding Remarks

Nanako Inaba (Sophia University)

日時：2018年12月14日（金）13:15-18:30

場所：国際基督教大学 東ヶ崎潔記念ダイアログハウス 国際会議室

共催：上智大学グローバル・コンサーン研究所